

# あしぎん香港レポート

2017年9月号

- 【調査レポート】中国のインターネット通販市場・・・・・・・・・・1
- 【トピックス】香港での法人設立・・・・・・・・・・3
- 【アセアンレポート】タイにおける自動車産業・・・・・・・・・・4
- 【ニュース一覧】・・・・・・・・・・5
- 【香港コラム】香港経済を支える縁の下の力持ち・・・・・・・・・・6

足利銀行香港駐在員事務所  
SUITE 1601, 16/F, TOWER2, THE GATEWAY,  
HARBOUR CITY, TSIM SHA TSUI, KOWLOON,  
HONG KONG  
TEL:+852-2251-9475  
FAX:+852-2251-9476

本レポートの内容につきましては、弊行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談下さいませようお願い致します。

## 【調査レポート】

### －中国のインターネット通販市場－

#### 1. はじめに

中国では、スマートフォンの普及が進み、インターネットを利用できる人口が増加し、インターネット通販市場が拡大を続けています。また、巨大な中国市場へ商品を販売したいと考えている日本企業にとって、拡大を続ける中国のインターネット通販市場を利用することは、重要な戦略の一つとなっています。そこで本稿では、中国におけるインターネット通販市場の現状と活用方法について、お伝えいたします。

#### 2. 中国のインターネット通販市場

中国のインターネット通販市場の現状について、市場規模やインターネットの普及状況などを、日本とアメリカと比較しながら確認していきます。

図表 1 中国の基礎情報(日本および米国と比較、2016年基準)

	(単位)	中国	日本	米国
総人口	百万人	1,379	126	324
1人あたりGDP	米ドル	8,028	32,477	56,116
インターネット人口	百万人	721	100	287
インターネット普及率	%	52	83	89
小売市場	億米ドル	62,255	11,959	48,628
電子商取引市場	億米ドル	9,276	774	3,984
電子商取引の小売市場占有率	%	15	6	8
ネット利用者年間取引額	米ドル	1,263	672	1,357

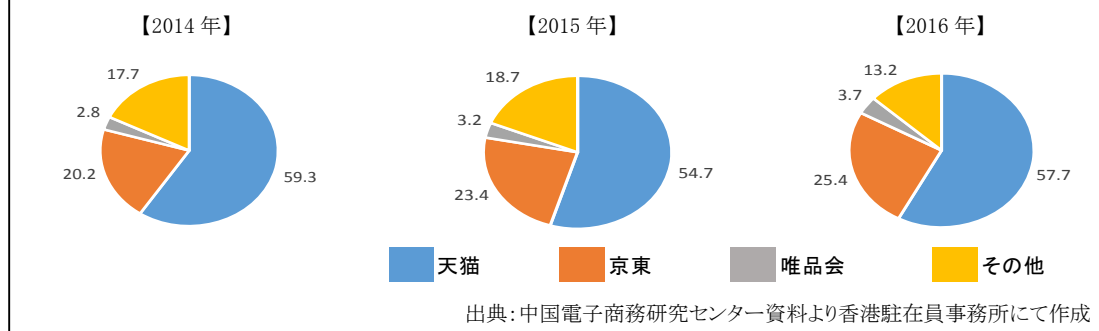
出典: 経済産業省の資料および各国統計局データより香港駐在員事務所にて作成

図表1のとおり、世界で最も人口の多い中国の小売市場においては、市場規模が日本の約5.2倍、米国の約1.3倍となっています。さらに、巨大な小売市場の中で、インターネット普及率が50%を超え、インターネット通販を含む電子商取引市場は、近年大きく成長を遂げており、その市場規模は日本の約12倍、米国の約2.3倍にまで成長し、世界最大の電子商取引市場となっています。また、中国の一人あたりのGDPは、日本の約4分の1、米国の約7分の1程度しかありませんが、インターネット利用者における電子商取引の年間取引額は、日本の約1.9倍、米国とほぼ同等と、非常に高いものとなっており、中国の消費者がインターネット通販市場をいかに利用しているかが理解できると思います。

#### 3. 中国のインターネット通販市場の活用方法

中国におけるインターネット通販市場は、その市場規模が大きく、今後もインターネットの普及が進めば、市場の拡大が更に見込められると思われます。それでは、この拡大する市場の活用方法を考えてみたいと思います。まずは、企業別の市場占有シェアの推移を確認します。

図表 2 中国のインターネット通販市場の企業別市場占有シェアの推移



図表 2 のとおり、過半のシェアを維持し続けているのが、アリババ集団の「天猫(Tmall)」であり、次いで「京東(JD.com)」も 25%以上のシェアと、この 2 社で 80%以上のシェアを持っています。このような状況から、中国でインターネット通販を行うのであれば、この 2 社を利用し市場に参入するのが、有効であると思われます。

次に、インターネット通販市場を利用し、市場参入をする場合の主な利用方法を確認していきます。まずは BtoC(消費者向けサービス)を利用した方法となります。この方法は、自ら「天猫(Tmall)」などの通販サイトに直接出店し、注文、販売から配送までを自らが手掛けることを意味します。この方法は、多くの日本の企業にとって、日本と商習慣の違う中国のインターネット利用者を直接相手にしなくてはいけないこと、代金の決済や商品の物流など、多くの課題に直面することが想像されます。次に、BtoB(企業間取引)を利用した方法となります。この方法は、直接インターネット利用者と取引を行うのではなく、インターネット通販を行っている中国企業と取引することで、中国のインターネット通販市場に参入する方法です。この場合、中国企業と取引を行うこととなりますが、自らインターネット利用者への対応を行うことに比べ、販売力があり、信頼できるパートナーが探せれば、商習慣などの課題を克服でき、市場へ参入する際の障壁は比較的少ないと思われます。

現在、多くの中国企業がインターネット通販サイトに出展する商品を世界中から集めています。そのため、海外の企業が中国のインターネット通販サイトを利用しやすくするためのプラットフォームを提供しており、アリババ集団が提供する世界最大級の BtoB 支援サイト「アリババドットコム」は、その代表例の一つであり、パートナーを探す手段として活用できるでしょう。

#### 4. まとめ

中国のインターネット通販市場は、市場規模が非常に大きく、また、インターネットの普及が進めば、今後ますます市場規模の拡大が見込まれます。日本の大手企業でも、このような有望市場を取り込む動きが活発化しており、ライオンでは、アリババ集団との連携をして、「天猫(Tmall)」専用商品としてチューブや箱に富士山を描いた歯磨き粉を投入するなど、中国のインターネット通販市場へ積極的に参入しています。

当行では、アリババジャパンと業務提携を行っておりますので、インターネット通販に興味があるお客さまは、最寄りの支店または香港駐在員事務所まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

## 【トピックス】

### －香港での法人設立－

#### 1. 香港進出日系企業の現状

香港は、アジア有数の金融都市であり、海外進出をする日系企業にとって抑えておくべき重要な地域の一つであります。香港が、海外進出先として日系企業や世界展開をする海外企業から重要視されるのには、当地で法人運営を行うことに大きな魅力があるためです。その理由としては、①整ったビジネス環境②地理的優位性③国際的な金融センター④シンプルかつ低率な税制といった特徴を有しているからだと考えられます。これまで、これらの恩恵を享受すべく、アジア市場を見据えた日系企業の香港進出が相次ぎ、2016年10月時点で1,376社(出所:外務省 海外在留邦人数調査統計)の日系企業が進出しています(業種別では貿易業、金融業、サービス業が多くなっています)。この日系企業の数は、在香港外資企業数の中で第1位の立場にあります。今後も日系企業における香港の重要性・優位性は維持されていくものと思われま

#### 2. 香港への進出方法

香港に進出する際の進出形態は、①駐在員事務所②支店③現地法人の3つがあります。3つの進出形態における一番の大きな違いは、「営業活動」を行うかどうか、という点です。支店や現地法人の場合は営業活動が可能となりますが、駐在員事務所の場合は、営業活動が許されておらず市場調査の目的で進出する際に活用されることが一般的となっています。香港に会社設立する際の進出形態毎の主な違いは、下記の通りとなります。

##### 【香港への進出形態とメリット・デメリット】

	メリット	デメリット
駐在員事務所	・開設・閉鎖が比較的容易 ・会計監査を受ける義務なし	・営業活動不可 ・税務メリットを享受できない
支店	・営業活動可 ・会計監査を受ける義務なし	・毎年、登記局へ本社決算書を提出 ・税務メリットを享受できない
現地法人	・営業活動可 ・税務メリットを享受できる	・会計監査を受ける義務あり ・清算に時間を要する

#### 3. まとめ

ビジネス環境の面において、香港は高く評価され続けています。また、人民元の国際化など、香港ならではの優先的・先行開放措置も多く、中国政府の政策的支援体制も充実しています。これらの魅力から香港進出のメリットは十分あります。香港進出を検討される際には、その目的に即した進出形態を検討いただき、最適な方法を選択されることをおすすめいたします。

## －タイにおける自動車産業－

### 1. はじめに

平成 29 年 7 月 29 日、タイのプラチンブリ県において、株式会社本田技術研究所のタイ現地法人が建設した四輪用テストコース「プラチンブリ プルービンググラウンド」の完成式典が開催されました。このテストコースは、アジア大洋州地域で開発された自動車の総合的な性能試験を行うための機能を有しており、約 52 億円もの費用をかけて完成されたものです。これにより、日系自動車メーカーなどの自動車開発の現地化が加速することが予想されています。そこで本稿では、タイにおける自動車産業についてレポートいたします。

### 2. タイにおける自動車産業

現在、タイにおける自動車の年間生産台数は、アセアン地域において最も多い約 200 万台となっています。タイ国内の工業団地には、日系自動車メーカーを中心に、多くの自動車関連企業が進出しており、アセアン地域における自動車産業の一大集積地としての役割を果たしています。また、タイは年間の貿易輸出額が約 2,000 億ドルとアセアン地域ではシンガポールに次ぐ貿易立国ですが、貿易輸出額の約 12%を自動車および自動車部品が占めるなど、自動車産業はタイ経済において重要な産業の一つとなっています。

### 3. 日本企業との関係

タイ国内における日系自動車メーカーのシェアは非常に高く、約 9 割を占めています。タクシーはほぼ 100%がトヨタ車であるなど、日系自動車メーカー生産車は高い人気と評価を得ています。このような背景には、古くから日系企業がタイへ積極的に進出してきたことが挙げられます。タイへの日系自動車メーカーの進出は、1960 年代にトヨタやホンダが東南アジア向けの生産拠点として進出したことに始まり、その後、1970 年代に各日系自動車メーカーが部品のタイ国内からの現地調達へ切り替えるべく、系列の自動車部品メーカーにタイ進出を要請したことにより、タイへの自動車関連企業の進出が増加していきました。現在、タイには日系自動車メーカーのティア 1～3(一次～三次下請け)の合計で、約 750 社(出所:マークライNZ株式会社のデータベース)が進出しています。

### 4. まとめ

タイは日系自動車メーカーの投資を促進させ、自動車産業の集積を図ることで発展を遂げてきました。また、日系自動車メーカーは、タイの安価な労働力を背景に、製造拠点として自動車の生産を行ってきました。今回のテストコース完成をきっかけに、タイが日系自動車メーカーの製造拠点から開発拠点として移行していくのか、注目していく必要があるものと思われます。

## 【ニュース一覧】

### 〈香港〉

- ・経済
  - －7月の日経・香港 PMI、51.3 に上昇し、4ヶ月連続で 50 超え(8/4)
  - －4～6月の香港成長率 3.8%、通年見通しを 3～4%に上方修正(8/14)
  - －4～6月の飲食店売上高、前年同期比 4.0%増加(8/3)
- ・金融
  - －香港金融管理局、日銀とのシステム接続を検討(8/4)
- ・不動産
  - －6月の民間住宅価格、前月比 0.7%上昇し 8ヶ月連続で過去最高を更新(8/2)
  - －中古住宅価格指数、過去最高更新(8/8)
  - －6月のオフィス賃貸料指数、過去最高更新(8/9)
- ・その他
  - －1～6月のコンテナ取扱量、世界 5 位(8/8)
  - －香港の総人口 739 万人、女性が男性を 60 万人上回る(8/14)
  - －香港空港、7月は旅客・発着回数とも単月として過去最高(8/15)

### 〈広東省〉

- ・経済
  - －7月の広東省製造業 PMI、52.1(8/2)
  - －1～6月の広東省自動車販売台数、前年同期比 7.8%減(8/14)
  - －7月の広東省 CPI、1.6%上昇(8/14)
- ・不動産
  - －7月の住宅成約件数、前月比で広州市 50%減・深圳市 30%減(8/2)
  - －広州市、住宅価格抑制策を強化(8/4)
- ・労務
  - －広州市のホワイトカラー求人月給、約 13 万円で全国 5 位(8/3)
- ・その他
  - －広東省の 6 月末貸出残高、前月比 14%増加し、全国首位維持(8/2)
  - －深圳市の商業登記数、全国首位(8/8)
  - －広州市、自転車シェアで車両の追加投入を禁止(8/8)
  - －広州－ハノイ間の貨物列車、運行開始(8/10)

(出所:各種新聞報道等)



## 【香港コラム】

### －香港経済を支える縁の下の力持ち－

香港において、夫婦共働きの家庭の場合、住み込みで家事手伝いを行う家政婦を雇うのが一般的です。このような家政婦を、香港では“アマさん”(以下、同表記)と呼んでいます。香港の女性は、物価や家賃が高い当地で生計を立てるため、結婚をして子供が出来ても、アマさんを雇い、家事を担ってもらうことで、仕事を続けるケースが多いです。日本においてアマさんを雇うのは、高所得者のような特殊なケースでないと経済的に難しいと思われませんが、香港ではごく一般的な家庭でもアマさんを雇っています。

その理由として、アマさんの給与が月平均 HKD4,100(日本円で約 6 万円)程度であり、一般的な家庭でも負担できる範囲であることから、アマさんの給与を支払っても、女性が働きに出た方が、結果的に可処分所得が増えることが挙げられます。

また、香港で働くアマさんは約 30 万人おり、多くはフィリピンやインドネシア、タイなどの東南アジアからの出稼ぎで、香港の家庭に住み込み、給与の大半を自国の家族へ仕送ります。

アマさんの仕事は朝早くから始まり、また幅も広く、朝食の準備から、掃除、洗濯、買い物、子供の学校の送迎、お年寄りの病院の付き添いなど、家事全般を行います。

そんな忙しいアマさんたちの唯一の楽しみが、日曜日の休日です。この日ばかりは、ばっちりメイクをし、いつもと違うおしゃれ(派手な色使いや民族衣装など)な服を着て街へ繰り出します。向かう先は公園や広場で、適当な場所にダンボールを敷き、同郷の仲間たちと食事やおしゃべり、カードゲームなどをして楽しんでいます。日曜の公園や広場が、アマさんたちで溢れ返る光景は、香港ならではの風景です。

近年、大きな経済発展を遂げてきた香港ですが、その背景には、香港人が仕事に専念できる環境を作るアマさんの存在があったのも、一つの要因だと思われれます。そういった意味でアマさんは、香港経済を支える縁の下の力持ちと言っても過言ではないかもしれません。

(香港島の金融街、中環の歩道での風景)



(香港島のとある公園での風景)

